

	タイプの特徴	子どもの性質や考え方	学校へ行きたい / 行きたくない	親子の会話
人間関係型	友達が出来ない。グループで揉めたなど、人間関係による不安で学校へ行けないタイプ キッカケは人間関係だけれども、「息切れ型」や「不応型」の子も多い。	空気を読むタイプが多い。うまく話しかけられない、自己主張が苦手。 また、反対に自己主張が強すぎて孤立してしまう子もいる。	行きたくない。けれど、本当は行きたい。	多い
息切れ型	優等生に多いタイプ。課題が終わらない、テストの点数が悪いなどの挫折がキッカケになりやすい	勉強出来る出来ないに関わらず、頭が良い。理論的。論理的。クイズ得意。 難しい話をすることが多い。	行くべきと思っている。内心は、行きたくない。 宿題や課題、勉強を理由に休むことが多い。	少ない
無力感型	本人も周りも理由が分からず、学校へ行けない。体がすごく重く感じる	勉強は苦手。人間関係での付き合いも上手くない。学校が楽しいと思えない。	行きたくない。「面倒くさい」「体がだるい」などと言う。	少ない
不応型	本人の特性によって学校がしんどい。人が多い環境が苦手。音や光が苦手。など	HSCや発達などの性質によって、学校という環境が合わない。 先生の怒鳴り声やザワザワ音などが苦手。友達の会話スピードについていけない。	行きたい、行きたくない、どちらもある。 ただ、基本的に学校はしんどい。	普通
拒否型	学校へ行く意味を感じず、友達と遊んだり、オルタナティブスクールへ通うタイプ	自由奔放なタイプ。自分の道を進む。学校へ行かない罪悪感はない。	行く必要はないと考えてる。	普通
トラウマ型	学校でイヤなことをされた、恐怖を感じて学校へ行けないタイプ。 キッカケはイヤなことをされたことだけれど、学校がしんどい特性を持っており、不応型な子も多い。	人よりも敏感、不安を感じやすいことが多い。 ただ、その特徴を持たず、単にイヤなことをされたというだけのこともある。	行きたい。けれど、「また、なにかされるのでは？」と不安を感じる	普通
分離不安型	小学生低学年に多い。親と離れることに不安を感じる。母子登校なら行くことができる	親ヘスキップを求めることが多い。学校で1人だと緊張感が強く、不安を感じる。	お母さんと離れたくない。学校へは、行きたくない、行きたいどちらもある。	多い
家庭不安型	家族のトラブルなどによって精神状態が安定せず、学校へ行けなくなっている状態	本人というより、環境による影響。離婚や再婚、家庭内不和など、家庭・生活に大きな変化があることで精神的に不安的になってしまう。	行きたくない。行く気力、誰かと関わる余裕がない。	少ない